

4年2組

 自分なりの問いを追究し続けていく子ども
 ～小麦栽培始めました!～


自分たちの小麦でパンを作りたい!



9月の頃のことです。パン作りの活動が進む中で、「自分たちで作った小麦でパンを育ててみたい」という願いが生まれてきました。調べていくと、小麦は、秋に蒔けば、来年の6月頃には収穫できるということが分かってきました。そこで、「平成農園」さんから畑を借り、「ゆめかおり」という品種の小麦を植えることにしました。

借りた畑が非常に大きく、一体どのくらいの広さなのか、また、そこから小麦がどのくらい取れるのかということが話題になりました。そこで、算数の面積の学習で、畑の面積を出したり、1㎡から採れる小麦の量をもとに、どのくらいの小麦が収穫できそうかを求めたりしました。

小麦の植え方が分からずに畑で困っていると、平成農園の社長さんが畑に立ち寄ってくれ、小麦の植え方をレクチャーしてくださいました。まっすぐに紐を引き、そこに畝を作り、種を巻いていく方法を教えていただきました。子どもたちは頑張っって畝を作っていました。畑が広いこともあり、とても大変な作業でした。しかし、みんなで力合わせ、無事に小麦を植えることができました。

小麦を植えた後、毎日畑の前を通るGさんが「鳥が来ていて、僕たちの小麦を食べてた感じだった。ネットとか張った方がいいんじゃないの」と心配をしていました。無事に小麦を植え終わったものの、鳥が食べに来てしまうという問題に直面しました。「無事に芽が出るかなあ」と心配する子どもたち。予定の10日が経ってもなかなか芽は出てきませんでしたが、2週間を過ぎるとだんだんと芽が出始め、大喜びする子どもたちの姿がありました。また、これからの小麦の成長への思いを込め、習字で「麦」という事にも挑戦しました。

その後小麦の活動は麦踏みは何回か行ったり、麦の品種について調べたりして、パ


 四年
 麦

ンの活動と並行して学習を進めてきました。大雪が降って小麦が全て隠れてしまった時でも、雪を掘ってみると、その下にたくましく成長している小麦の姿がありました。3月になり雪も溶けると、ぐんぐんと成長していく小麦の姿があります。これから、私たちの小麦がどんなふうになっていくのか楽しみです。また、収穫した小麦をどのように加工していくのか、子どもたちとも考えていければと思っています。

